

各DI値の回復傾向はさらに進展するものの、実感を伴わず

5月の情報連絡員報告によると、製造業の景況DI値は前月に比べさらに改善し、マイナス25台となった。一方、非製造業の景況ははまだマイナス40台であるものの、徐々に回復している。しかし、数字とは裏腹に情報連絡員から伝えられた具体的な報告では、景況の回復を表わす内容は、極めて少なく、先行きの不安感を伝える声ばかりが目立っている。

又、原材料価格は依然として上昇傾向にある。

【製造業63人、非製造業87人、計150人の集計】

各項目のDIの動き (前年同月比)

	全 体	製 造 業	非製造業
売 上 高	😊	😊	😊
在 庫 数 量	😊	😊	😊
販 売 価 格	😊	😊	😊
取 引 条 件	😊	😊	😊
収 益 状 況	😊	😊	😊
資 金 繰 り	😊	😊	😊
設 備 操 業 度	😊	😊	—
雇 用 人 員	😊	😊	😊
業 界 の 景 況	😊	😊	😊

😊 …増加、上昇、好転

😐 …不変

😞 …減少、低下、悪化

✓ 行政庁・中央会に対する主な要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	主な要望事項
鉄鋼・金属	鍍金加工業	保証協会の保証付融資における、利子補給や保証料補助の拡充を望む。
	建築金物製造業	住宅需要喚起のため、一層の振興策の実施をお願いしたい。
化学ゴム	プラスチック製品製造業	官公庁で使用する事務用品等は国内製品を採用してほしい。
卸 売 業	食肉卸売業	口蹄疫への対応を早急に望むとともに、畜産農家への補償についての配慮を願いたい。
小 売	鮮魚小売業	食品に対する消費税の課税は断固反対したい。
	青果小売業	6月の東京都中央卸売市場は休場日が増えるため野菜の価格がさらに上昇する可能性がある。行政には価格を抑える方策を実施してほしい。

平成22年
5月

業 界 の 声

製 造 業

集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等
食 料 品	麺製造業	天候不順の影響で特に中華麺の売れ行きが悪い。
	中華麺製造業	5月の連休以降、動きが悪化。工場の操業度が著しく低下している。
	製粉業	国内産麦の価格決定方式を巡る協議が膠着状態となっている。決定が先までずれ込めば、従来からの播種前契約（小麦の種まき前に生産者と購入者が購入契約を結ぶこと）が崩れる可能性がある。
繊維・同製品	ネクタイ製造業	4・5月は前年比90%前後で推移した。
	帽子製造業	ゴールデンウィークは天候に恵まれ、各組合員とも、売上が2・3割上昇していたが、その後の天候不順等により売上は低下した。
	帆布製品製造業	今年の5月は過去数年間で最も厳しい景況であった。
	洋服製造業	受注量は若干減少。5～6月はシーズンオフのため従来から受注量は減少していたが、多少あった追加発注が全くない。各社とも損益分岐点を2割程度割り込んでいる。
	ニット製品製造業	大手事業者の繊維事業からの撤退や中国の資本傘下入りなど、国内繊維産業の危機的状況がさらに進んできている。
	織物製造業	一部組合員は売上が上向き傾向にあるが、多くは相変わらず厳しい状況にある。原材料価格は上昇傾向。
木材・木製品	建具製造業	先月は景況の回復が期待出来る状況にあったが、再び売上は低調となった。仕事量に波があり、組合員も今後の見通しが立っていない模様である。
印 刷	印刷業	組合で実施した売上動向調査によると、1～3月は前年比で96.3%。4～6月の予測では前年比94.4%と厳しい見通しになっている。
	印刷加工業	前年比では売上にさほどの変化はないが、出版物が少しずつ減少している。電子書籍の普及が進むことで、本の将来が危ぶまれる。
化学ゴム	プラスチック製品製造業	年初より売上は回復傾向にあるが、ピーク時との比較では80%程度の仕事量である。販売価格は依然として厳しい。
	ゴム製品製造業	多少回復基調にあるが、国内向け需要は未だ伸び悩んでいる。
	タイヤ製造業	若干景気回復の兆しが見られる。アジア製の安値タイヤが良く売れており、国産品の売上に影響している。
窯業・土石製品	砕石製造業	平成22年度の国の公共事業費は大幅に削減されると思われ、砕石の需要も大幅に減少すると予想される。
鉄鋼・金属	缶製造業	4月に続き生産量は、最悪であった昨年より上昇機運にある。
	鋳物製造業	多少受注量が増加した企業もあるが原材料・副資材の一部値上げが見受けられる一方、取引先からの値下げ要請もあり、経営状況は厳しい。
	鍍金加工業	安定した受注が無く、スポット受注で支えている。そのため、他品種、小ロットでコストアップになり、収益改善にはほど遠い状況にある。また、品質に対する要求も高い。
	建築金物製造業	新規の見積もりは増えているが、価格、利益とも低いままで今後の見通しは不透明である。
一般機械	木工機械製造業	1月から3月はやや明るさが見えていたものの、4月以降再び低迷している。
	写真製版機材製造業	印刷物の数量は少しずつ回復している。しかし収益率は低く、コスト削減に努めているのが現状である。
その他の製造	スポーツ用品製造業	前年度はメーカー出荷ベースで98%のマイナス成長となった。需給バランスの乖離による値引き販売の増加がゴルフ、テニス用品及びスポーツシューズで顕著に見られる。しかし厳しい景況下でもサイクルスポーツとアウトドア関連の2分野は規模を拡大した模様である。
	ガス圧接業	受注単価の下落は止まらない。稼働率も低く価格競争も激化している。企業の収益率は悪化しており、業界の先行きが見えない。
	工業塗装業	じりじりと景況は悪化している。経営者の報酬削減等で対処しているが、限界が近づいている。

平成22年
5月

業 界 の 声

非 製 造 業

集計上の 分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等
卸 売	銅製品卸売業	売上は前年比では増加するも、前々年同月比ではマイナス15～20%。
	理容用品卸売業	当組合と交流のある全国団体がアジア諸国の理美容業者やメーカー、商社を視野に入れたイベント「第6回アジアビューティエキスポ」を開催し成功を収めた。また、海外業者との交流により、理美容が法律で分割されていない海外の現状を知ったが、今後の我が国の業界の方向性を示唆していた。
	化粧品卸売業	廃業する組合員が月に3、4件発生している一方、新規組合加入はほとんどない。
	電線卸売業	ニッチ市場（ロボットケーブル、エコ電線、ソーラーケーブル等）で動きみられるが、主力の建築分野向ケーブルは依然低水準である。夏場以降の物件も多くない。
	美容用品卸売業	上部団体が主催した展示会は3万9千人余りの入場者を数えた。市場が活発化する動きがみえている。
	鶏卵卸売業	景気回復の波に乗る事もなく、鶏卵業界には変化がない。
	食肉卸売業	宮崎県で発生した口蹄疫により、国内の食肉市場の集荷に影響が出ている。販売価格も高騰気味となっている。
	木材卸売業	国産材は原木の出材が減少し価格は上昇。一部外材にも品薄状態や価格の上昇がみられる。
	電器製品卸売業	電子部品の納期がタイトになっている。
	ねじ製品卸売業	原材料価格の上昇により収益状況はやや悪化。今後の価格転嫁が課題。
	セメント建材卸売業	組合員の減少は今後も続くと思われる。
	玩具卸売業	ゴールデンウィークの売上は前年比100～105%。5月全体の売上も伸びている。この要因は男児用玩具が好調なことと、昨年は新型インフルエンザの影響で客足が伸び悩んでいたことが理由として考えられる。
	再生資源卸売業	業界には後継者問題があり、その対策の必要性が高まっている。
	食器卸売業	飲食店の出店が少なく、食器の売上が減少している。
	小 売	ニット製品卸売業
木材小売業		前年比の売上高は不変であるが、2月より徐々に回復しつつある。
古書籍小売業		組合員数は微減となっている。景況については組合・組合員とも厳しい状況にある。
ペット小売業		飼鳥に関してはヨーロッパや台湾等からの輸入が減少しているとともに、国内での繁殖も進まないため、仕入の確保が出来ない状況にある。
電器製品小売業		国内メーカーのテレビパネルの調達遅延により、テレビの生産量が低下しており、入荷に影響が出始めている。本年度も地デジ対策の戸別訪問事業を6月から開始することから、売上の増加を期待している。
食品小売業		売上回復の気配が感じられない。精肉部門は口蹄疫問題の影響を受け売上が低下。
文具小売業		5月は営業日数が少ないため売上は少ない。天候不順も影響し、前年実績に届かなかった。
商 店 街	洋服小売業	気温の変動が大きすぎて、衣料品全般の売れ行きが伸び悩んでいる。
	目 黒	5月は売上の下げ幅が小さくなっている。今後の改善を期待している。
	秋 葉 原	エコポイント制度の継続もあり、冷蔵庫の売上が上向いている。外国人の来街者も増加傾向にある。2年ぶりに日曜日の歩行者天国を再開の予定。

サービス	自動車整備業	事業者間の景況の格差がさらに増大。また、ユーザー車検の増加が業界に大きな影響を及ぼしている。
	クリーニング業	天候不順から時期はずれ込んだが、ようやく繁忙期に入った。しかし客足は今ひとつである。
	飲食業	天候不順が続き、客足は伸び悩んだ。
	公衆浴場業	平成22年度の入浴料金は据え置きとなったが、客数の減少に歯止めがかからない。
	廃棄物処理業	廃棄物排出量の減少により、処理手数料は若干低下。
	複写業	5月は営業日数が少なく、売上は減少し固定費等を回収しきれない。官公需の減少が続くなど依然厳しい状況が続いているが、受注回復の雰囲気を感じられ、今後に期待している。
運送	貨物自動車運送業	建設関連運送が特に悪化している。ただし、中堅から大手の組合員には健闘している事業者もある。